

取組内容説明書

事業所名	TOMASEI ホールディングス（株）
------	---------------------

1 取組を開始した経緯

(1) 取組を開始した経緯

※ 取組を開始した経緯・動機・社会的背景や、事業内容との関連性などについて、記述してください。

1953年（昭和28年）TOMASEIグループの原点である環境事業を開始し、時代の変遷とともに暮らしや事業活動に欠かせない生活環境整備を中心に、事業領域の拡大を行ってまいりました。

1993年に事業会社 株式会社トマウェーブを設立し、廃タイヤを活用したサーマルリサイクルと下水汚泥の肥料化を開始。近年廃棄物の適正処理の観点から多くご相談を受ける食品加工会社から排出される食品残渣の受入れをはじめましたが、ご要望が多く、現有施設だけでは対応が困難になることが予想されるため新規事業に向け着手。顧客、環境、未来に向けて、排出される廃棄物を資源として活用できる方法を模索していたところ、環境省並びに農林水産省で行われている政策『再生利用事業計画（食品リサイクル・ループ）認定制度』の存在を知り、当グループでできることはないか検討を重ね、同制度の認定を目指し計画を立案しました。

事業スタートにあたって、以前よりお取引のありましたライラック・フーズ株式会社様に、本計画をプレゼンし御協力を要請したところ快諾をいただき、処理施設で製造した肥料を使用して生産されたキャベツを購入いただけることとなりました。

2017年、食品残渣を使用したバイオガス発電、処理過程で出る消化液を活用した液肥、肥料化を行うことを目的とした処理施設を建設し事業をスタート。翌2018年には、農作物の生産を目的とした 株式会社 Smile-loop を新設し、同年より厚真町にて農作物生産の請負（コントラクター）事業を開始させキャベツの栽培を実施。秋には生産したキャベツをライラック・フーズ様へ販売し食品リサイクル・ループの実証が完了。

2019年12月、再生利用事業計画認定制度へ申請し、2020年10月に認定を受け現在に至っています。

2 発生・排出抑制の取組内容

(1) 発生・排出抑制の取組前後のフロー

※ 発生・排出抑制の取組前後のフローを示してください（既存のパンフレットなどを用いても結構です）。取組開始前と比較して、取組によりどのように発生・排出抑制が図られたかを明示してください。

取組前後について

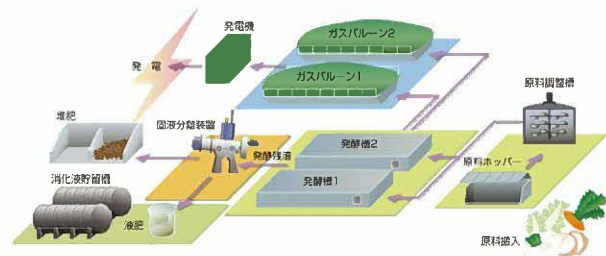
- ・廃棄物の発生・排出抑制について取組前後に変化無

食品リサイクル・ループ取組後の効果

・食品残渣受入れ量	→ 1,915 t (2019年度 実績)
	→ 2,254 t (2020年度 実績)
	(株)トマウェブ受入れ許可数量 20 t/日
・年間発電量/※CO2削減量	→ 227,017Kw/94,839kg (2019年度 実績)
	→ 369,316Kw/154,374kg (2020年度 実績)
	※CO2削減量はプラントメーカー理論値
・肥料並びにたい肥使用量	→ 1トン (2020年度 実績)
	→ 3トン (2021年度 実績)
・生産物の出荷量	→ 9,439kg (2020年度 実績) (うちライラック・フーズ(株)様納入6,930kg)
	→ 18,493kg (2021年度 実績) (うちライラック・フーズ(株)様納入15,543kg)



事業フロー



バイオガス発電処理フロー



再生利用事業計画認定書

(2) 発生・排出抑制の取組内容

【取組内容】

※ 発生・排出抑制の取組の具体的内容について、①新たに設置した設備や技術（経費も含む）、②既存の技術・知見の活用、③他の事業者との連携、④工夫した点、などがわかるように具体的に記載してください。

- ①新たに設置した設備や技術（経費も含む）
 - ・食品残渣処理プラント建設並びに発電システム導入
（約¥600,000千円 借入にて手配 ※補助金等の受領は無）
- ②既存の技術・知見の活用
 - ・メタン発酵に適した食品残渣の選定
- ③他の事業者との連携
 - ・食品リサイクル・ループ認定にあたり、ライラック・フーズ（株）様と連携
 - ・グループ企業（株）Smile-loopの新設
- ④工夫した点
 - ・工場見学をしやすいレイアウト
 - ・寒冷地対策

【効果】

※ 取組による排出・発生量の推移を事業規模の推移と併せて次の表によりまとめて記述してください。

区分		実施前の発生(排出)量		実施後の発生(排出)量		変動(%) (2-1) / 1 ×100
		年度	年度 ①	年度	年度 ②	
廃棄物()	発生量					
	CO2 排出量					
廃棄物()	発生量					
	CO2 排出量					
事業規模 ()	百万円 (又は千円)					
単位あたり 発生(排出)量	t/百万円 (又は千円)					

3 その他事業所における環境配慮の取組

※ 上記取組のほかに、事業所における発生・排出抑制や環境経営に関する取組を講じている場合は、その取組について記載してください。

2004年 株式会社とませいにてISO14001を取得以降、社内の環境活動だけではなく外部との連携による環境活動にも積極的に参加。苫小牧市の水源清掃、地元信用金庫様が行うビーチコーミング、イオン北海道清掃活動等への協力。また、TOMSEIグループでは2019年よりSDGsの推進を行い、自然環境だけではなく、経済環境、社会環境においても当グループができることは無いか考え、取組んでおります。